

次期総長予定者の選出について（談話）

本日、東京大学は、総長選考会議を開催し、藤井 輝夫 氏を次期総長予定者として選出いたしました。

総長選考会議は、選考開始の公示の際に策定した「求められる総長像」に照らして慎重かつ丁寧な審議を行い、次の理由から同氏を次期総長予定者として適任であると判断しました。

同氏は、「求められる総長像」に掲げた東京大学総長として期待される5つの資質、能力及び実績を存分に有し、それらに裏付けられた卓越した指導力を発揮し、東京大学憲章の掲げる目標・理念の実現に向けて東京大学を運営・経営していくことができると十二分に期待できます。

また、大学が果たすべき役割が益々重要になっている中、教学と経営の長として、激しく変化する社会の中で、学問の自由と大学の自治を守りながら、奉仕的精神に則り、構成員の信頼を得つつ、日本、世界から寄せられる大きな期待に応えることができる者であると確信し、同氏が次期総長にふさわしいと判断いたしました。

総長選考会議は、藤井 輝夫 氏のリーダーシップの下、東京大学が更なる発展を遂げていくものと期待しております。

なお、今回の総長選考にあたって、選考プロセス等に関する要望を多方面からいただいたことを真摯に受け止め、総長選考の在り方について、検証と改善に取り組んでいく所存です。

今後とも総長選考への学内外の皆様のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年10月2日

東京大学総長選考会議議長

小宮山 宏